

## コットン栽培農家さんをご紹介します

第7回 永山 進さん (62歳)

阿武隈山系の裾野に広がる遠野町上根本地区。どこまでも田園風景が広がり農家が点在する典型的な中山間地域に永山さんのコットン畑があります。

道路より少し奥に入ると「オーガニックコットン栽培地 みいこ畑」と書かれた看板が目に入ります。永山さんが一昨年からコットン栽培に参加したのは不思議なきさつがあります。造園業を営んでいた祖父が89歳の高齢となり畑仕事までは手が回らなくなったことから、東京の方で誰か田舎暮らしをしたい人に貸したい・・・と考えていたそうです。そのことを奥様の美伊子さんが何気なく東京の友人に話したのがきっかけで、ピープルに永山さんを紹介する電話が入ったのが3年前でした。

市内のコットン畑を見学した上で自分の畑なら旨くやれると確信し、決心したそうです。永山さんの現在の畑の傍には10年前まで家屋があったため、地域の簡易水道がそのまま残っていて、水の心配をすることなく栽培を始めることができました。事実この2年間他の畑に比べ見事な収穫ができました。

研究熱心な永山さんは、今年は実がなり始めてから、実験的に2畝程は下の葉を落とすといひます。「大きな実になると思う。旨くいく筈だよ」と楽しそうに笑顔



で語ってくださいました。奥様はボランティアツアーが入るたびに美味しい味噌汁と漬物を沢山ご馳走してくださいました。二人で協力合せてボランティアを入れて下さる姿に感謝の声しきりです。

また仕事をリタイヤして2年、毎年2回大好きなハワイ旅行に行かれるなど仲の良いご夫妻の姿は微笑ましい限りです。

## 新しい仲間コットンエンジェル誕生

新商品の開発はフラベイズ以来一年ぶりです。このたび誕生したのはコットンエンジェルです。ボディは白い綿、髪の毛は茶綿でショートカットに。天使の輪にはかすみ草のドライフラワーを使いました。

発表を前にフェイスブックで皆さんのご意見を伺ったところ、羽は鳥の様に型紙を送って下さる方もいて沢山のご提案や貴重な意見を頂きました。本当に有り難うございました。こうして誕生したコットンエンジェルです。

クリスマスツリーにつけてみました。クリスマスのおもてなしが溢れていて、思いがけず素敵な作品になりました。又次のようなメッセージカードも付いています。

価格は1ヶ1000円です。ご連絡頂ければお送りいたします。只、数に限りがありますので早めにご注文下さい。



～コットンエンジェルからのMESSAGE CARD～  
「ふくしまで育てたオーガニックコットンのワタで作ったコットンエンジェルです。ふくしまのお母さん達が愛情込めて作りました。種から育ててみたい方はご連絡下さい。育て方と一緒に種を送らせて頂きます。」

## おさがりバザー大好評！大盛況！

本会が毎年恒例のイベント「おさがりバザー」を9月10日アクロスプラザ大原店で行いました。

この日のために一年間かけてストックしてきた子供服約2000着を1着100円～で販売。当日は同会場周年祭イベントがあり、オープンから大勢の親子さん達で賑わいました。山積みとなっている子供服の中から我が子に似合う服を真剣に見つけ出し喜ぶお母さんたちの姿は感動的でした。



今回は事前のチラシ配付は勿論、当日FMいわきの実況生中継もあったことでおさら盛り上がりを見せました。

子育て中のお母さんたちを応援するための、このおさがりバザーはこれからも毎年1回秋に開催していきたいと思ひます。

## 古着送付と仕分けお手伝いに感謝!!



最近では全国から送られてくる古着の量が増大しています。26年間取り組んできた本会の古着リサイクル活動への理解が深まり応援者が増えてきていると感じます。

今年前半は東京のルミネ様から100箱単位で古着を送って頂きました。後半になってからは東北12店舗のミアスカラ様から連日大量の古着を送って頂きました。「リサイクルする事で社会貢献!できる」「着ない洋服引き取りますキャンペーン!やります」といった形で9/1～9/30まで東北各店で実施して下さいました。

また最近いわき市内では、一人暮らしの高齢者から「主人が亡くなり一年が経ったので気持ちの整理ができたました。引き取りに来てください」と相次いで連絡が届いています。どんな古着も有効活用しますのでゴミとして処分せず、本会に提供頂きたいと思ひます。回収ボックスへの搬入が無理な方は事務局で対応しますのでご連絡下さい。

ところで10月22日(株)東芝の社員さんとその家族33名が、本会の古着仕分け作業のお手伝いに来所されました。古着の多さと全て活用していく本会の取り組みに様に驚かれながらも一点一点真剣に仕分け作業にあたっていました。「難しかったですが、いい体験にができました」と感想を寄せてくださいました。

## 永崎団地・下神白団地集会所で交流会

9月22日フラメンコショー&スペイン料理軽食&コットンベイズ作り。10月17日には歌手、中平マリコのライブ&ブラジル健康体操と軽食&コットンベイズ作りという内容盛り沢山の交流会が成功裏の内に開催されました。

これは「いわきの復興を担うコミュニティ重点支援事業」の一環で、ピープルが福島県の補助を受けて実施したものです。

永崎団地はいわき市の津波被災者のための団地で約200世帯。下神白団地は原発事故の避難者のための団地で約200世帯。この地区には集会所が向かい合っていて建っていることから、双方の会場を活用して交流会を開催しました。こうした形で開催するのは初めてでしたので、どれだけの人が来てくださるか心配でした。しかし当日は60人を越す皆さんが笑顔で来場されました。

今後、12月には埼玉県から有機栽培でソバを作っている農援隊の皆様がそばの提供を。1月にはダンディ鈴木さんによるマジックショーを催します。勿論軽食&コットンベイズ作りも合わせて開催します。その都度ポスターやチラシで周知し、沢山の方々に参加していただくことで交流を重ねていきたいと思ひます。



## クリンピーの家 リサイクルフェア開催!

10月16日、いわき市渡辺町にあるクリンピーの家でいわき市主催のリサイクルフェアが行われました。

地域の方々にリサイクルに対する意識を高めてもらいたいとの目的で開催されたもので、エコ・リサイクルに関する企業や団体が出店し、様々なワークショップが行われました。

本会では古着の100%ウールのセーターから作ったリサイクルワタを活用し、お花の作品を作るフェルト手芸教室を行いました。終日沢山の親子連で賑わいましたが、本会の教室は特に人気で65名ものお子さんが参加されました。3名のスタッフが大変な忙しさに汗だくになって、頑張り続け対応させて頂きました。

私たちの活動を会員として支えて下さい。  
会費納入をよろしくお願い致します。

会費：活動会費（実際に活動に参加される方と、会報の講読という形で支援して下さる方） 2,000円/年

賛助会員（資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員） 10,000円/年

郵便振替 (02110-0-24908) でお送りください。